

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

識別番号・報告回数	B-07000232	第5報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日	2007年04月14日	機構処理欄
最新情報入手日	2007年09月05日	第一報入手日	2007年03月30日	原疾患・合併症・既往歴	◎ 死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの 永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの 先天異常を来すもの その他の医学的に重要な状態	報告された死因 (死亡の場合)			
副作用	15日	過去の副作用歴		インフルエンザ 気管支炎 尿路感染 肺炎		呼吸不全			新医薬品等の区分 該当なし
発現国 (情報源)	日本 (日本)								
患者略名	T.T.	身長 cm							
性別	男性	体重 kg							
年齢	93歳	曝露時の妊娠期間							

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量	投与期間	医薬品使用理由
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	CAP	投与量/回 回数 75mg/2回 1日	投与開始日 終了日 07/03/23 07/03/25	インフルエンザ

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
重・重	アレルギー性胞隔炎 (アレルギー性肺臓炎 (間質性肺炎))	アレルギー性肺臓炎		07/03/29				死

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

身長・体重：不明
2007/03/23
インフルエンザ確定診断実施。結果：FluA
サンブル採取箇所：鼻腔 発症時自他覚所見：咽頭発赤 (中等度)、痰がからむ、発熱 (38.2℃)
本剤75mg x 2回/日処方。
2007/03/25
食思不振となる。本剤投与中止。
2007/03/28
摂食不能。
2007/03/29
アレルギー性肺臓炎 (間質性肺炎) 発現。
胸部X線にて間質肺炎あり。脱水症。
2007/03/30
入院。
間質性肺炎発現後、呼吸困難増悪、発熱継続 (38℃以上)、ステロイドにて対処→平熱。
ベンチリン1g x 2回/日点滴 (~4/5)、サピタンN 1A/日 (~4/4)、デカドロン2mg x 2回/日 (~4/13) 投与開始。
胸部CT所見：両肺にスリガラス状の濃度上昇が広がっている。通常の肺炎の他、過敏性肺炎、間質性肺炎なども鑑別に上がる。
診断：S/O blt. diffuse pneumonia
細菌検査実施。